

# コーディネーター

昨年(2010)9月～11月にコーディネーター講座というものを受講した。この講座は「なかネットワークシステム(NNS)」が毎年、コーディネーターを育成するために開催しているものです。コーディネーターというのは、産、学、官のネットワークと各種中小企業支援制度等の情報を持って、経営者の相談に乗りながら情報を提供する世話焼きのこのようです。いろいろの講師から説明を受けましたが、コーディネーターの典型は坂本竜馬の様な人であると言われた方がおりました。坂本竜馬は小生も尊敬する人なので、そうか!と理解すると同時に、難しい仕事だとも思いました。

講座の内容は、コーディネーターのあるべき姿を始め、コーチング、地域の中小企業支援組織、地域企業を訪問し、実際の問題分析と解決策の提案等の実習後発表会等なかなか充実したものでした。グループ討議と発表は現役時代の管理職研修と同様であり、久しぶりに刺激を受けました。パワーポイントやプロジェクター等の無駄遣いが久しぶりに役立ちました。

講習に集まった方は、ほとんどが日立製作所(大企業)のOBですが、その中でも小生は最年長(67才)でした。この講習で、小生は今までの知識には無かった、中小企業の問題を勉強したり、企業訪問、見学等で、大変刺激を受けました。いつも通る所にある企業はこんなことをしていたのかなどと、多くの刺激を受けた上に、修了証を頂き、コーディネーターとして活動出来るようになりました。しかしながら、その後の活動にはほとんど参加していません。この理由は、自分の年齢を考慮してもっと若い人の活動を邪魔しないためです。そもそも今回の受講は、自分の好奇心から生じた欲求を満たすためであって、働くことを目的としていませんでした。

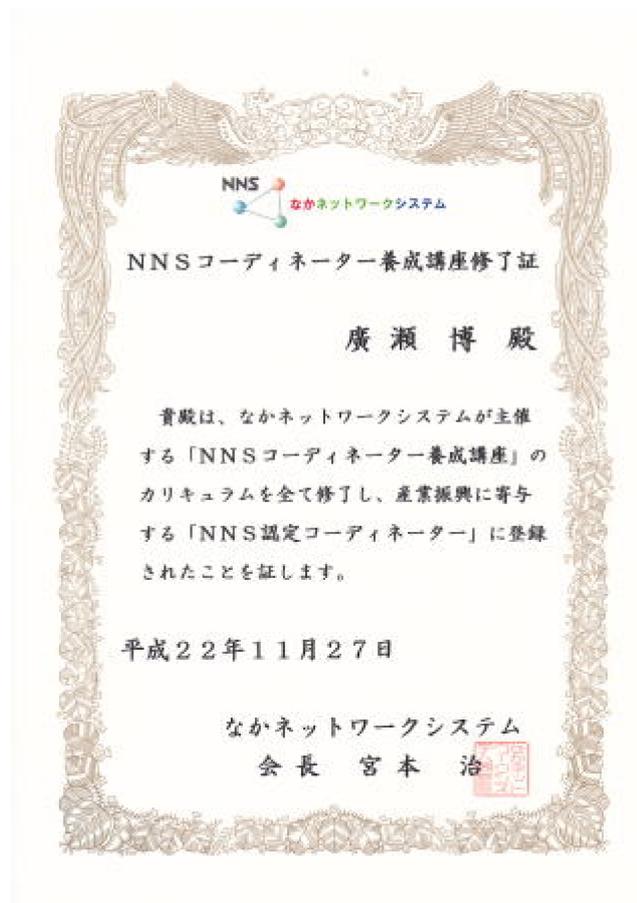
今回の講習で二つの印象が残っています。

一つ目は企業訪問先に放射線計測に強い企業があって、その企業の強化のために、簡易放射線センサーを時計やカーナビ等につけたらどうかとグループ提案しました。時計につけるとは、近頃の電波時計には温度計、湿度計、また専門の時計には気圧計や方位磁石等まで付けられています。これらの一端に放射線センサーを付けたら良いと思いました。さらにカーナビ等につければ自動車の走る所どこでも計測できると考えたのです。技術的には、そんなものが出来る保証はなく、原価的にも何の解決策も持っていませんで、単なる思い付きでした。このため、グループ討議の段階で没となってしまいました。これは、これで、なんということもありませんでしたが、今年3月の福島原発の事故が起こって、最近では小学生一人ひとりにセンサーが渡されているのを目の当たりにして、あの提案もまんざらではなかったなと密かに思っています。

もう一つの印象は中小企業支援のために県、市、大学、民間等の多くの複雑な組織が活動していることが判りました。逆に考えると、中小企業の効率は極めて悪いものだと思いました。これらの中小企業が日本の底力になってい事を考えると、複雑な心境になりました。



コーディネーター登録証



修了証

2011年9月1日 UP